

## Q 西洋医学と東洋医学って どんな違いがあるの？

**A** 西洋医学は、検査や診察から病気が決められそれに対して薬をもらいますよね。東洋医学は、その人の体質、からだの滞りなどの調整機能の乱れをチェックし、からだ全体を診ていきます。体質改善をしたときやお薬の副作用が気になる方は、東洋医学が合っていると思いますが、双方を組み合わせることで最善の治療ができるといわれています。

## Q どんな症状に 効果があるの？

**A** 乳児や子供の場合、虚弱体質の改善や、新薬や抗生剤、ステロイド剤などを避けたいときに漢方薬を指定される方が多いですね。また、腹痛や嘔吐をしているけれど、赤ちゃんに聞いても、どこが痛いのかよくわからないですよね。そんなときは、即効性のある漢方薬で、体力アップしてあげて、早めに痛みを緩和してあげるのがいいと思います。■□□□□□□□□□■□



PROFILE  
たまきクリニック院長  
玉木優子先生

北里大学医学部医学科卒業。東邦大学医療センター大橋病院開業医小児科研修などを経て、自由が丘にたまきクリニックを開業。目黒区乳児健康診査受託、目黒区立緑ヶ丘幼稚園園医ほか。東洋医学と西洋医学をバランスよく取り入れた診療が評判。



イラスト：本田よん

漢方薬は生薬。  
天然の草木を組み合わせ  
てつくる薬です。  
その人のからだ全体を診  
ながら体質を改善し  
治療していきます。

## Q 産後のママに おすすめなのは どうして？

**A** 体力が落ち、ホルモンのバランスが不完全な産後ママにも漢方薬はおすすめです。特に、授乳中の方は、合成剤を避けたいとお考えの方もいますよね。そんなときにも漢方薬が有効です。ただし、漢方薬＝すべてが安全、ということではありませんので、ちゃんと診察を受け、漢方を処方できる医師に相談してください。

## 赤ちゃんと ママの 漢方のいろは

最近、注目の漢方薬。小児科でも希望すれば処方してくれるところが増えています。

古くから伝わる漢方薬ですが、「じつは、よく知らない」というママも多いよう。まずは、漢方薬を知ることからはじめましょう。

## Q 漢方薬の 上手な 取り入れ方、 飲み方って？

**A** 赤ちゃんは、苦いものを口にしませんから、漢方薬は少し大変かもしれませんが、ゼリーやシャーベットに混ぜてしまえば大丈夫。また、はじめて漢方薬を使うときは、風邪などの初期症状のときに試してみるのがおすすめです。軽い症状だと、意外と治ってしまうことが多いんですよ。